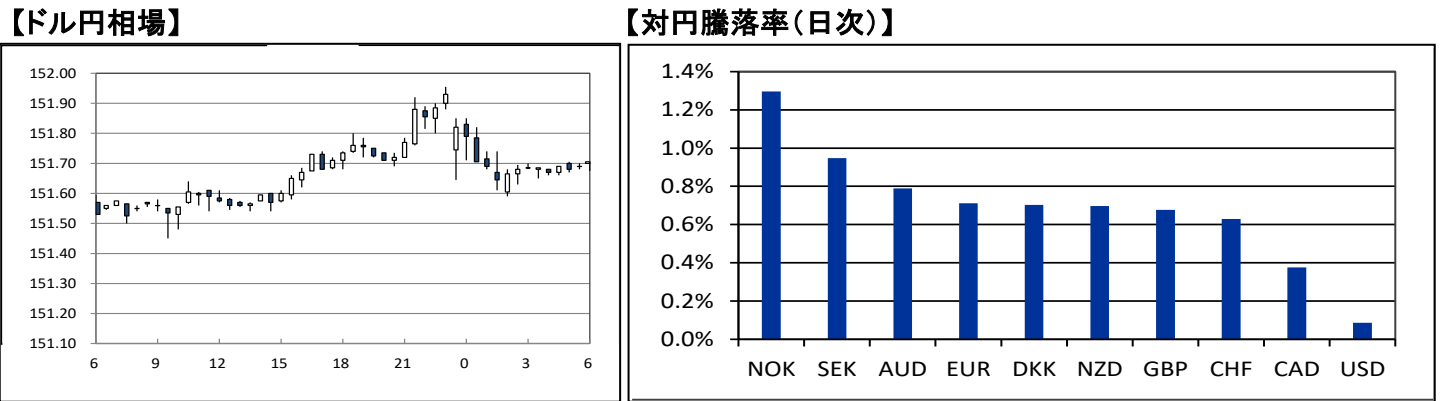


【昨日の市況概要】				公示仲値	151.58
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	151.55	1.0768	163.16	1.2576	0.6513
SYD-NY High	151.95	1.0837	164.35	1.2655	0.6569
SYD-NY Low	151.45	1.0764	163.08	1.2563	0.6504
NY 5:00 PM	151.71	1.0836	164.35	1.2653	0.6566
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,127.14	▲ 43.10	日本2年債	0.1900%	0.0000%
NASDAQ	16,277.46	37.01	日本10年債	0.7600%	0.0100%
S&P	5,211.49	5.68	米国2年債	4.6713%	▲0.0207%
日経平均	39,451.85	▲ 387.06	米国5年債	4.3297%	▲0.0123%
TOPIX	2,706.51	▲ 7.94	米国10年債	4.3502%	▲0.0019%
シカゴ日経先物	40,065.00	360.00	独10年債	2.3980%	▲0.0120%
ロンドンFT	7,937.44	2.35	英10年債	4.0560%	▲0.0280%
DAX	18,367.72	84.59	豪10年債	4.1450%	0.0860%
ハンセン指数	16,725.10	▲ 206.42	USDJPY 1M Vol	7.58%	▲0.22%
上海総合	3,069.30	▲ 5.66	USDJPY 3M Vol	7.96%	▲0.18%
NY金	2,315.00	33.20	USDJPY 6M Vol	8.33%	▲0.12%
WTI	85.43	0.28	USDJPY 1M 25RR	▲1.42%	Yen Call Over
CRB指数	295.20	0.97	EURJPY 3M Vol	7.72%	▲0.14%
ドルインデックス	104.25	▲ 0.57	EURJPY 6M Vol	8.21%	▲0.10%

東京	東京時間ドル/円は151.55レベルでオープン、下落する日経平均を見ながら直後につけた151.45がこの日の東京安値に。その後は減額が予想されていた国債買い入れで減額が見送られると、151.66の東京高値まで上伸。ただ、一段の上値追いはならず、その後は151.55-60の狭いレンジで推移。終盤小幅に下値を切り上げ、151.65レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.65レベルでオープン。午後に米3月ISM指数の発表を控え、方向感なく推移し、結局151.77レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0771レベルでオープン。ユーロ圏3月CPI速報値が予想を下回ったものの市場への影響は限定的。結局、1.0784レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台半ばでスタート。米長期金利が高水準で推移する展開を横目に、ドル円はじり高で推移し、151.77レベルでNYオープン。朝方に発表された米3月ADP雇用統計が予想を上回り、ドル買いが優勢となり、151.95まで上昇する。しかし、続いて発表された米3月ISM非製造業景況指数ヘッドラインが予想を下回り、新規受注等の構成項目でも弱い結果が目立った事を受け、米金利の低下に伴い、151.70付近まで反落。その後パウエル議長が「インフレについて確信強めるまで利下げは想定せず」との認識を示すも、ドル円は反応薄。午後は151.59まで値を下げる場面もあったが、その後は下げ渋り、小幅値を戻した後、151.71レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。独金利の低下が上値を抑え、1.0780付近で上値重い推移が続く。続いて発表されたユーロ圏3月CPI(前月比)が予想を下回るも、特段大きな反応は見られず、その後1.0784レベルでNYオープン。午前中は先述の弱い米ISM非製造業の結果を受け、米金利の低下を背景に1.0837まで上伸。午後も高値圏の1.0830付近での推移が続く、1.0836レベルでクロス。

【昨日の指標等】						
Date	Time		Event		結果	予想
4月3日	10:45	中	Caixin中国PMIコンポジット/サービス	3月	52.7/52.7	-/52.5
	18:00	欧	CPI速報値(前年比/前月比)	3月	2.4%/0.8%	2.5%/0.9%
	18:00	欧	失業率	2月	6.5%	6.4%
	21:15	米	ADP雇用統計	3月	184k	150k
	21:30	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	10-12月期に利下げを実施することが適切になる可能性高い		
	22:30	米	パウマンFRB理事 講演	流動性を支援するための枠組みを検討すべき		
	22:45	米	PMI・確報サービス/コンポジット	3月	51.7/52.1	51.7/-
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	3月	51.4	52.8
4月4日	01:10	米	パウエルFRB議長 講演	年内どこかの時点で政策金利を引き下げるのが適切		
【本日の予定】						
Date	Time		Event		予想	前回
4月4日	16:55	独	PMI・確報サービス/コンポジット	3月	-	49.8/47.4
	17:00	欧	PMI・確報サービス/コンポジット	3月	-/49.9	51.1/49.9
	18:00	欧	PPI(前月比/前年比)	2月	-0.6%/-8.5%	-0.9%/-8.6%
	20:30	欧	ECB議事要旨	-	-	-
	21:30	米	貿易収支	2月	-\$67.6b	-\$67.4b
	21:30	米	新規失業保険申請件数	45381	214k	210k



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-152.00	1.0750-1.0900	163.00-165.50

【マーケット・インプレッション】

昨日は、日本時間では狭いレンジでの推移となった。米国時間では、ADP雇用統計が売市場予想対比上振れたことなどから、151円95銭まで円安ドル高の流れが強まる場面が見られた。もっとも、その後はISM非製造業景況指数が予想を下回ったことなどを受け151円70銭台まで上昇幅を縮小させた。

本日のドル円相場は引き続き152円を前に上値が重い展開を予想する。米国経済が底堅く推移する中では、早期利下げに対する期待感が強まりづらく、ドルが買われやすい展開が続くであろう。一方で、為替介入に対する相応の警戒感もあるだけに、結果として151円台半ばから後半にかけての推移になろう。